

基本目標2 みんなで働き方を考えよう(基本施策4～6)

基本施策4 就労環境の充実

No	事業名	担当課等	区分	実施計画内容	実施状況、目標値への到達度	来年度に向けた課題及び改善点	担当課評価
14	再就職相談	商工課	継続	実施時期:通年 対象:再就職を希望する女性等 目的:出産・子育てといったライフステージを経た女性が、労働の場に復帰できるように支援を行う。 内容:ワークサポート三条(三条市就労支援相談室)の職業相談員による就労支援及び情報提供を行うとともに、再就職を目指す子育て中の女性を対象にしたセミナー等を開催し、再就職に対する不安解消やアドバイスを行う。 前年度からの改善点:再就職を希望する女性等がより相談しやすい環境を作り、相談者の増加につなげられるよう、相談方法の選択肢の周知を図る。 目標値:相談者数 延べ200人 予算額:3,141千円	実施時期:通年 対象:再就職を希望する女性等 参加者数:183人(うち男性57人、女性109人)※令和5年1月末現在 内容:ワークサポート三条(三条市就労支援相談室)の就労支援相談員が就労支援及び情報提供を行っている。 また、子育て世代を対象に年間5回セミナーや就労相談応援デーを企画し、今年度の実績は次の通りとなった。 ・はじめてのZOOM体験セミナー参加人数(5/25:0名) ・就労相談応援デー参加人数(6/21:1名、2/9:2名) ・転職スキル発掘セミナー参加人数(8/24:0名、12/8:0名(申込1名)) ・フリートーク形式参加人数(10/11:1名(希望者3名→1名個別相談へ)) 予約者、希望者が直前で就職が決まったり、子の体調不良でキャンセルなどもあったが、全体的に参加者が少なかった。 工夫した点:セミナー等はママに限らずパパも参加可としているので、ママセミナーという名称から「子育て世代のための」に変更した。また、Zoom等により誰もが参加しやすい環境を作るよう工夫している。 目標値に対する結果:令和5年1月末現在相談者数延べ166人であり、現時点で目標値未達成 決算見込額:3,141千円	広報さんじょうへのイベント掲載が、対象者10人以下は掲載されなくなり、周知手段が減ってしまい、参加者の確保ができなかった。 2月の就労相談応援デーでは、これまでA4サイズのチラシ設置、A3サイズのポスター掲示をしていたが、ポスターをA2サイズに変更した。大きくしたことで、子どもの健診会場に掲示してくれた施設もあり、それを見て申し込んだ人がいたことから、周知媒体を工夫し、集客に努める。	A 1…3点 2…3点 3…3点 4…3点 5…3点 6…1点 合計 16/18 =88.8%

No	事業名	担当課等	区分	実施計画内容	実施状況、目標値への到達度	来年度に向けた課題及び改善点	担当課評価
15	就職ガイダンス	商工課	継続	実施時期:未定 対象:再就職を希望する女性等 目的:出産・子育てといったライフステージを経た女性が、労働の場に復帰できるように支援を行う。 内容:関係機関と連携し、女性が応募しやすい職種に限定した就職ガイダンス等の情報を提供する。 前年度からの改善点:女性が応募しやすい職種のガイダンス開催情報の入手に努め、三条おしごとナビを始め、様々な媒体を活用して広く周知を行う。 目標値:年2回(2日連続)開催に合わせて周知を行う	実施時期:令和5年2月(3月4日、5日) 対象:再就職を希望する女性等 参加者数:不明 内容:新潟日報主催の看護職就職応援オンラインガイダンス2023が3月に2回(2日連続)開催されるため、SNSでガイダンスの周知を行う。 工夫した点:従来行っていなかったツイッターでの周知を行った。 目標値に対する結果:開催回数としては目標値達成だが、周知回数や広報の方法については次年度再検討を要する。	ガイダンス情報だけではなく、就職に役立つ外部のセミナー等の周知も行っていきたい。今年度は新潟県主催の「おしごと体験会」「女性のための就業支援セミナー」「未就労女性のオンラインスキルアップ事業」の周知も行ったが、このような情報提供も引き続き行っていく。	B 1…2点 2…1 3…2点 4…1点 5…2点 6…2点 合計 9/15 =60%
16	創業塾pontekia	商工課	継続	実施時期:7月～11月 対象:市内に創業を検討している方又は創業の知識を身につけたい方 目的:女性や若者の創業を支援するため、創業希望者や既出店者が経営についてのノウハウを学ぶ場を提供し、長く続く店づくりに寄与する。 内容:女性や若者が創業前に必要知識を学ぶことで、長く続く店づくりを支援する。 (創業の心構え、先輩創業者体験談、創業の基礎知識、店舗視察、顧客の獲得方法、金融相談会、創業資金について、ビジネスプランの作成及び完成、プレゼンテーション) 前年度からの改善点:前年度は感染症流行拡大の影響により、先輩受講生や受講生同士の交流の機会を設けることができなかったため、今年度は感染症の状況に応じながらも、受講生同士が交流できる機会を設ける。 目標値:受講生15人以上 予算額:962千円	実施時期:令和4年7月13日～11月2日 対象:市内に創業をお考えの方又は創業の知識を身につけたい方 参加者数:33人(うち男性15人、女性18人) 内容:全9回開催 男女ともに幅広い年齢層の受講生から申込みがあり、受講生の人脈形成と創業に関する学びを深める支援につながった。様々な立場の受講生同士で意見交換を行い、多様な視点から創業について考える場となった。 工夫した点:育児中の参加者を見越して保育ルームを設置したことで、利用して講義に臨んでいる受講生もいた。また、開講前に女性のための働き方セミナーの日程を設定したことから、創業塾pontekiaにつながった受講生がいた。 目標値に対する結果:33人(達成率220%) 決算見込額:671千円	(来年度本事業は実施予定なしのため、後継事業について)感染防止のために受講生、卒業生の会食による交流の場を設けなかった。来年度以降は、感染症等の状況を注視し、意見交換などといった講座内も含めたの受講生同士の交流の場を複数設けていく。	A 1…3点 2…3点 3…3点 4…3点 5…3点 6…3点 合計 18/18 =100%

No	事業名	担当課等	区分	実施計画内容	実施状況、目標値への到達度	来年度に向けた課題及び改善点	担当課評価
17	女性のための働き方セミナー	商工課	継続	実施時期:6月 対象:これからの働き方(創業・起業・就職・転職)を模索している女性 目的:結婚や出産を機に環境が変わり、これからの働き方を模索している女性に対し、創業や再就職を支援する。 内容:自分の「好き」や「得意」を活かして、新たな事業を起こしたい女性を対象に「やりたいことのコンセプトメイクをする場」(セミナー、ワーク、個別相談会)を提供し、将来の創業や、再就職へ繋げる(企業内起業を含む)。 目標値:受講生10人以上 予算額:695千円	実施時期:6月 対象:これからの働き方(創業・起業・就職・転職)を模索している女性 参加者数:17人(うち男性0人、女性17人) 内容:燕三条エリア「スタートアップ拠点」である株式会社MGNETの武田社長と新潟出身のデザイナー村手氏を講師に迎え、創業や再就職に関するセミナー、ワークショップを行った。現在妊娠中、育児中、両親の介護中など様々な状況にある女性が参加し、これからの働き方について考える機会となった。工夫した点:講話形式、グループワーク形式など開催会によって形式を変え、参加者自身も考えて発表するセミナーとした。また、セミナー後の個別相談会では、自身の創業への気持ちをより深く掘り下げたい参加者が参加した。また、育児中の参加者に向けて保育ルームを設置した。 目標値に対する結果:受講生17人 決算見込額:586千円	令和5年度は事業の実施予定なし	A 1…3点 2…3点 3…3点 4…3点 5…3点 6…3点 合計 18/18 =100%
18	働く女性のためのスキルアップセミナー(再掲)	地域経営課	継続	No.1に同じ			

No	事業名	担当課等	区分	実施計画内容	実施状況、目標値への到達度	来年度に向けた課題及び改善点	担当課評価
19	求人求職マッチング事業	商工課	継続	実施時期:調整中 対象:市内の事業所 目的:男性も女性も子育てしながら働きやすい環境が整えられるよう事業所における両立支援の理解を深める。 内容:事業所における人材不足解消のため、子育て等のために離職した女性の雇用のために求められるニーズを市内企業に提供するセミナーを開催する。 前年度からの改善点:セミナー参加事業所数の増加を図るため、来場方式とオンライン方式を併用するなど、参加しやすい環境を整える。 目標値:年1回開催 予算額:137千円	実施時期:令和4年11月17日(金) 対象:市内の事業所 参加者数:8人(うち男性5人、女性3人) 内容:1回開催 女性・シニア層の就業意欲が高いことを認識し、女性・シニア層の活用のための職場環境を整えることの意義やメリットを成功事例を交えながら伝え、女性・シニア層の積極的な活用を働きかける。 工夫した点:成功事例(時間制約のある女性社員の活用、仕事を覚えられるかなど)を交えながら、女性やシニア層が活躍できる職場環境を考えるきっかけとなった。女性やシニア層が働きやすい職場は、結果として誰もが働きやすい職場であるという気づきを得てもらう内容を目指した。 目標値に対する結果:年1回開催で目標値達成 決算見込額:137千円	令和5年度は事業の実施予定なし	A 1…3点 2…- 3…3点 4…3点 5…3点 6…3点 合計 15/15 =100%

No	事業名	担当課等	区分	実施計画内容	実施状況、目標値への到達度	来年度に向けた課題及び改善点	担当課評価
20	雇用・労働の場における男女共同参画に関する広報・啓発活動	商工課	継続	実施時期:通年 対象:市内の事業所、市民等 目的:雇用、労働の場における男女共同参画の推進を図る。 内容:セクシャル・ハラスメント防止、雇用機会の均等、両立支援等引き続き(公財)21世紀職業財団、(公財)新潟県女性財団等関連団体のホームページのリンク等、広報・啓発を行う。 前年度からの改善点:引き続き、事業所宛の周知は、三条市勤労者福祉共済のたよりが従業員にも配布されるタイミングを利用し、2回以上配布する。 また、ホームページの検索キーワードを工夫する。 目標値:ホームページ等での周知のほか、事業所宛に年2回以上配布する。	実施時期:通年 対象:市内の事業所、市民等 内容:ホームページには常時、雇用均等・仕事と家庭の両立支援ページに、女性の活躍推進、両立支援、ハッピーパートナー等のホームページへのリンクを貼り、このページから情報収集できるようにしている。 また、関連団体から送付されるチラシやポスターの掲出を庁舎だけではなく、働く若者が集まるソレイユ三条でも行い、より広く周知を図っている。 また、三条市勤労者福祉共済のたよりに、ハッピーパートナー企業一覧と募集についての記事を4回掲載し、加入事業所会員(2月1日現在:289社・3,212名)に配布、周知を行った。 工夫した点:チラシやポスターは、商工課所管施設の考え得る場所全てには掲出している。 目標値に対する結果:事業所宛の共済だより(従業員に配布されるとき)に4回掲載した。目標値達成。	ホームページにおいて、雇用・労働の場における男女共同参画に関する情報にたどり着きやすくするため、検索キーワードを工夫する。	A 1…- 2…- 3…- 4…3点 5…2点 6…3点 合計 8/9 =88.8%

基本施策5 子育て環境の充実

No	事業名	担当課等	継続	実施計画内容	実施状況、目標値への到達度	来年度に向けた課題及び改善点	担当課評価
21	多様な保育ニーズへの対応	子育て支援課	継続	実施時期: 通年 対象: 市民全般 目的: 子育てを支援していく環境の充実を図り、女性の社会参加につなげる。 内容: 女性が働きながら、安心して子育てできる環境を整えるため、保育所での乳児保育や早朝・延長保育、すまいるランド・あそぼって、子育て支援センターでの一時預かり等を継続して実施する。 また、新潟県済生会三条病院附属保育園たんぼぼ内の病児・病後児保育ルームなのはなで、病児・病後児保育事業を継続実施し、多様化する保育サービスの充実に努めていく。 前年度からの改善点: 多様化する保育ニーズを把握し、継続して事業を行っていく。 予算額: 3,181,411千円	実施時期: 通年 対象: 市民全般 参加者数: 内容: 多様な保育ニーズに対応するため、乳児保育や早朝・延長保育、すまいるランド・あそぼって、子育て支援センターでの一時預かり等を実施した。 また、新潟県済生会三条病院附属保育園たんぼぼ内の病児・病後児保育ルームなのはなでの病児・病後児保育事業を継続した。 決算見込額: 3,076,213千円	更なる保育ニーズに対応するため、保育士の確保に努める。	A 1…- 2…- 3…- 4…- 5…- 6…3点 合計 3/3 =100%
22	子どもの放課後等の居場所の確保	子育て支援課	継続	実施時期: 通年 対象: 小学生～高校生 目的: 安心して働くことのできる環境を整え、女性の社会参加につなげる。 内容: 小学生の放課後等の居場所として、放課後児童クラブ、放課後子ども教室を継続して実施する。また、中・高校生を対象に夏休み期間に公共施設の開放を行う。 また、安心して子どもが過ごすための放課後の居場所づくりについては、利用児童数増加に対応できるよう居場所の確保を進める。 前年度からの改善点: 地域の状況を(施設や人材等)を整理し、小学校や関係機関との具体的な協議を行い、検討していく。 予算額: 238,931千円	実施時期: 通年 対象: 小学生～高校生 内容: 児童クラブは、年々登録児童が増加していることから、女性の社会参画の一助となっている。 ・また、子どもに留守番をさせることに不安を感じる保護者の相談に応じ、必要に応じて、5年生以上の児童も保育している。 ※各年度1月末現在登録者数(人) R1年度: 967 R2年度: 978 R3年度: 997 R4年度: 999 ・放課後子ども教室(令和5年1月末時点) 3ヶ所、実施回数延べ6回、参加人数71人 工夫した点: 女性が安心して働ける環境を整えるため、子どもの受入日等について、相談に応じ、働きやすい環境づくりに協力している。 決算見込額: 388千円(放課後子ども教室推進事業費決算見込額) 187,000千円(児童館等施設運営費決算見込額)	保護者が安心して働くことができるよう、継続して児童クラブの運営に努める	A 1…- 2…- 3…- 4…3点 5…- 6…3点 合計 6/6 =100%

No	事業名	担当課等	継続	実施計画内容	実施状況、目標値への到達度	来年度に向けた課題及び改善点	担当課評価
23	育児講座(再掲)	子育て支援課	継続	No.9に同じ			
24	ファミリーサポート提供会員養成講座	子育て支援課	継続	実施時期:11月～12月(予定) 対象:市民 目的:社会全体で子育てを支援していく環境を作り、女性にかかる子育ての負担を軽減する。 内容:民間団体等において子どもを預かる方(ファミリーサポート提供会員)を養成するための講座を実施する。また、既会員等の資質向上のためのスキルアップ研修と兼ねて実施する。 前年度からの改善点:受講者確保のため、参加しやすい日程や実施場所を検討する。また、チラシなどの表現に注意する。 目標値:全受講者のうち、新規受講者の割合を25%以上とする。 予算額:70千円	実施時期:令和5年1月6日(土)、13(土)日、20日(土)、27日(土)(全4回) 対象:市民 参加者数:12人(うち男性1人、女性11人) 内容:新規提供会員の養成及び既会員等のスキルアップ研修として子育てに活かせる実践的な内容で講座を開催し、資質の向上を図った。 工夫した点:・心肺蘇生法の講習では、乳幼児を対象とした講習を行った。 ・昨年に続き参加される会員もいるため、新たな学びを得られるようプログラムの見直しを行った。 ・Twitter、子育て支援情報メール等による広報により、新規受講者の参加増を図った。 目標値に対する結果:新規受講者割合約83%(12名中新規10名。他2名は昨年度も受講)で目標達成 決算見込額:70千円	引き続き、子育て支援団体への新規登録に繋げるため、毎年固定されている開催時期・時間帯(曜日)・会場等の見直しが必要。	A 1…3点 2…2点 3…3点 4…2点 5…2点 6…3点 合計 15/18 =83.3%